

第9回HPDU杯全国大会
各都道府県代表校の皆様

日本高校生パラメンタリーディベート連盟
HPDU of Japan

**第9回日本高校生パラメンタリーディベート連盟杯
HPDU Competition 2020 (Co-sponsored by HPDU and ESUJ) 実施要領**

新型コロナウイルス対策のため、以前に発表したものから大幅に変更し、自宅から参加できるオンラインで開催することにいたしました。

共同主催：一般社団法人 日本高校生パラメンタリーディベート連盟(HPDU of Japan)
一般社団法人 日本英語交流連盟 (The English-Speaking Union of Japan)
後援：文部科学省 (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)
：ブリティッシュ・カウンシル (British Council)
カナダ大使館 (Embassy of Canada to Japan)
オーストラリア大使館 (Australian Embassy Tokyo)

特別協賛：有限責任 あずさ監査法人 (KPMG AZSA LLC)

協賛：公益財団法人 日本英語検定協会 (Eiken Foundation of Japan)
iae グローバルジャパン株式会社 (iae GLOBAL JAPAN, Inc.)
株式会社テレビ東京 (TV TOKYO Corporation)
キヤノン株式会社 (CANON INC.)
キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (Canon Marketing Japan Inc.)
ANA ホールディングス株式会社 (ANA HOLDINGS INC.)

メディアパートナー：読売新聞社 (THE YOMIURI SHIMBUN)

協力：株式会社アルク(ALC PRESS INC.)
イーエムティー株式会社(Energy Management Technologies KK)
エイムネクスト株式会社 (AIMNEXT Inc.)
株式会社E d u L a b (EduLab, Inc.)
株式会社オールアバウト (All About, Inc.)
公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団 (Japan Philharmonic Orchestra)
油井アソシエイツ株式会社 (YUI ASSOCIATES, Inc)

1 趣 旨

全国の高校生に、即興型であるパラメンタリーディベートの試合を行う機会を提供することにより、グローバル社会で活躍するのに必要とされる英語による論理的発信能力、問題発見解決能力、クリティカル・シンキング、コラボレーション力、グローバル課題や時事問題についての基礎知識、そして緩急やジェスチャー、ユーモアなどを意識した聞き手目線の分かりやすいパブリック・スピーチ力を養う。また、参加者間の交流を図り、共に学び合う関係を作る。

2 日時

- 1) 全国大会予選 (50 チームを予定) 2020 年 3 月 22 日 (日) 9:30~17:45 頃
- 2) 決勝トーナメント (上位 8 チーム) 2020 年 3 月 23 日 (月) 9:30~15:30 頃

3 場所

自宅など Wi-Fi 環境が整っている場所

4 内容

World School's Debating Championships(WSDC) Style (但し本大会用に修正を加えたもの) による英語ディベート大会 1 チーム 3 名、予選 4 試合(2、3、4 試合目はパワーペアリング) 各チームの勝ち数と得点ポイントで、上位 8 チームを決め、決勝トーナメント

5 参加資格

日本に住所がある高校に在学している学生(留学生、帰国生徒、外国籍の生徒も含む)のうち、日本高校生パラメンタリーディベート連盟に公式認定された各都道府県大会に参加して出場権を獲得した者、または本連盟より特別に出場権を与えられた者(同一都道府県内の出場希望校が1校のみであった場合など)。

6 参加手続き

- ・ 3 月 11 日 (水) 19:00 までに、各都道府県の代表校に送付された参加登録フォームからお申込みください (期限厳守)。また、不参加の場合も同フォームの 2 ページ目の下の欄にて、その旨お知らせください。
- ・ 参加費は、1 チーム 3,000 円です。3 月 16 日 (月) までに下の口座にお振込みください。

振込先銀行：埼玉りそな銀行 伊奈支店

普通預金 口座番号： 3916652

振込先口座名義：日本高校生パラメンタリーディベート連盟

ニホンコウコウセイパラメンタリーディベート連盟

※先の要領に従って 32,000 円をお支払いになった学校様には差額の 29,000 円を払い戻しいたします。

- ・ 全選手の撮影同意書を 3 月 16 日 (月) までに、hpduofjapan@gmail.com まで、お送りください。

※以上の 3 点をもって出場登録となります。期日までに上記すべてが行われない場合、出場が認められない場合があります。

7 大会の日程 (オンラインのため変更の可能性あり)

第 1 日目 予選

8:50 点呼

9:20 第 1 試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20 分)

9:45 第 1 試合 (約 50 分)

10:35 ジャッジによる勝敗の説明 (30 分)

11:25 第 2 試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20 分)

11:55 第 2 試合 (約 50 分)

12:45 ジャッジによる勝敗の説明 (30 分)

13:15 休憩 (昼食)

13:50 第 3 試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20 分)

14:15 第 3 試合 (約 50 分)

- 15:05 ジャッジによる勝敗の説明 (30分)
- 15:55 第4試合 対戦表・論題発表 (準備時間 20分)
- 16:25 第4試合 (約 50分)
- 17:15 ジャッジによる勝敗の発表なしのアドバイス (20分)
- 17:35 解散 (結果発表は SNS で行います)

第2日目 決勝トーナメント

- 9:00 点呼
- 9:30 準々決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25分)
- 10:00 準々決勝 (約 50分)
- 11:15 準決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25分)
- 11:40 準決勝 (約 50分)
- 12:30 休憩 (昼食)
- 13:00 決勝 対戦表・論題発表 (準備時間 25分)
- 13:30 決勝 (約 60分)
- 15:00 結果発表

8 試合形式

[対戦組み合わせについて]

第1試合の対戦組み合わせは事前にランダムで決める。予選2～4試合目はパワーペアリングによって決める。予選4試合の勝敗数、そして勝敗数が同じチーム間ではスピーカーズ・スコアの総得点で、予選の順位を決定する。上位8チームが決勝トーナメントに進出し、準々決勝では予選の成績が良かった順に1～8の番号を振り、以下の通りで対戦を行う。

- 準々決勝 A: team 1 対 team 8 準々決勝 B: team 2 対 team 7
- 準々決勝 C: team 3 対 team 6 準々決勝 D: team 4 対 team 5

[試合開始前の準備時間について]

論題は、予選では試合開始の20分前に発表される。論題発表後以降は、ディベーターはチームメイト以外の人との相談は禁止とする(顧問との相談も禁止)。

決勝トーナメントでは、準備時間は25分とする。高価な道具を用意できたかどうかによって勝敗が左右されることがないように、論題発表以降は、ストップウォッチ、電子辞書専用機を除いた電子機器の使用は禁止する。

[スピーチの順番および時間]

試合の流れ 準備時間 第一日目20分、第二日目25分

- 1) 1st Affirmative Speaker 【5分】
- 2) 1st Negative Speaker 【5分】
- 3) 2nd Affirmative Speaker 【5分】
- 4) 2nd Negative Speaker 【5分】
- 5) Government Whip 【5分】
- 6) Opposition Whip 【5分】
- 7) Opposition Reply 【4分】

8) Government Reply 【4 分】

*決勝のみ Constructive Speech を各 7 分とします。

最初の 6 つのスピーチ(Constructive Speech)の時間は各 5 分間、ただし決勝のみ各 7 分間。Reply Speech は 4 分間。各 Constructive Speech の最初と最後の 30 秒間(決勝のみ 1 分間)を除いた時間では、対戦相手のチームは Point of Information (質問、反論、コメント)を行うことができ、Point of Information がスピーカーから許可された場合、最長で 15 秒話すことができる。

Reply Speech は、チームの 1 人目または、2 人目のスピーカーのいずれかが行い、Whip Speaker が Reply speech を行うことはできない。

[スピーカーの役割]

- 各チーム最初の 2 人のスピーカーは、それぞれ肯定または否定側の議論を示し、また相手チームの議論に最低限の反論をする。
- 3 人目の Whip speaker は、主に相手チームの議論への反論、そして反論された内容を受けての議論を立て直しを行う。より詳しいやり方については、HPDU のホームページの「参考資料」内「Whip を極める」を参考にしてください。
- Reply Speech では、どうして自分たちのチームがその試合で勝利したのか、いくつかの争点に絞って説明を行う。

9 評価方法

[勝敗について]

- 各試合では、勝敗と各スピーカーの個人得点が決められる。
- Constructive Speech では、右の表で示すとおり、75 を基準に上下 8 点の幅で各スピーチに得点が与えられ、Reply speech では、37.5 を基準に上下 4 点の幅で得点が与えられる。
- 予選ではジャッジが試合終了後に口頭で試合の勝敗とその理由を説明する。

| Standard | Overall |
|----------------|---------|
| Excellent | 82-83 |
| Good | 79-81 |
| Above Average | 76-78 |
| Average | 75 |
| Below Average | 72-74 |
| Poor | 69-71 |
| Extremely Poor | 67-68 |

| Standard | Overall |
|----------------|-------------|
| Excellent | 41 – 41.5 |
| Good | 39.5 – 40.5 |
| Above Average | 38 – 39 |
| Average | 37.5 |
| Below Average | 36 – 37 |
| Poor | 34.5 – 35.5 |
| Extremely Poor | 33.5 – 34 |

10 注意事項

- ディベーターは試合中に時間を計る際はストップウォッチかタイマーを使用してください。
- ディベーターは準備時間内にチーム内の者以外と相談することはできません。また、電子辞書を除いた電子機器(例 インターネット接続機能を持ったタブレット・コンピューター等)を準備時間内そして試合中に、資料の検索を目的に使用することはできません。
- HPDU の記録担当が撮影したものに関しては、後日、HPDU や ESUJ のホームページ、後援・共催・協力団体への報告書、HPDU や ESUJ についての説明会や講演で使用することがあります。ご了承ください。
- 大会の様子は読売新聞が取材し、同社の媒体で紹介される予定です。写真撮影も行うこともあるかもしれ

ません。参加者全員の「撮影同意書」提出が大会の参加条件になりますので、よろしく願いいたします。
・急な発熱などのより選手を変更せざるをえない場合は、大会前日の 19 時まで連絡してください。

11 オンライン利用の大会実施に関する注意事項

- ・スマートフォンを各自一台用意してください。モーション発表等は全て LINE で行うこととします。受賞者の発表も LINE でお知らせする形を取り、授与式は行いません。22 日（日）の試合の結果は、その日の夕方に配信します。
- ・今大会はオンラインで行うため、通常の運営と異なることが多々あります。たとえばスケジュールや進行にスムーズに行かない可能性があることもご了承ください。
- ・オンラインによる大会なのでネット回線がある環境が用意できることが参加条件になります。各参加者は必ず適切な環境で試合ができるように事前に準備をしてください。
- ・自宅で参加できるということにより気が緩むことがあるかもしれませんが、不正は絶対に行わないようお願い致します。不正防止のための大会ルールを作成するので従ってください。万が一、不正が発覚した場合は、その選手が所属している学校は HPDU が開催する大会に一年間参加できなくなります。
- ・本大会では ZOOM をプラットフォームにして実施します。後日詳しい案内を送りますので、それに従い、大会前に必ず練習し、うまく使えるかどうかの確認をしてください。

12 各種教育奨励賞

- 1) ESUJ 賞：優勝チームを英国で行われる英国 E S U 主催ディベートキャンプ Debate Academy 2020 へ派遣。2020 年 8 月中旬を予定。出国から帰国までの全行程を ESUJ が責任をもってアレンジします。
- 2) iae グローバルジャパン賞：準優勝チームを豪州シドニー工科大学語学研修に派遣。2020 年 8 月 2 日から 9 日を予定。出国から帰国までの全行程を iae グローバルジャパンが責任をもってアレンジします。
- 3) あずさ監査法人賞：参加者全員にパラメンタリーディベート練習用テキストを贈呈。
- 4) 日本英語検定協会賞：予選ベストスピーカー賞受賞生徒、決勝トーナメント出場校に図書カードを贈呈。
- 5) 日本フィルハーモニー交響楽団賞：上位 4 チームに音楽 CD を贈呈。
- 6) キヤノン賞：第 3 位のうち 1 チームにデジタルカメラを贈呈。
- 7) キヤノンマーケティングジャパン賞：第 3 位のうち 1 チームにスマホ専用ミニフォトプリンターを贈呈。
- 8) アルク賞：書籍（予選大会ベスト 9～16 に授与）を贈呈。

※上記の副賞「海外研修」について

- ・優勝校には E S U J から英国 Debate Academy に、準優勝校には iae グローバルジャパンから豪州シドニー工科大学で行われる研修に生徒 3 名と引率者 1 名を派遣する権利が進呈されます。
- ・各研修に参加する生徒の数は 3 名全員でなく、1～2 名でも構いません。
- ・各研修に参加する生徒は同校の生徒で研修を受講する英語力があれば、大会で賞を獲得した選手でなくても構いません。
- ・権利を獲得した学校は 3 月 31 日までに、研修に参加するか、あるいは辞退するかを本連盟のメールアドレス hpdujp@gmail.com に連絡してください。参加を表明された学校はすみやかに参加承諾書を提出していただき、4 月上旬中にパスポートの取得、現地研修への参加登録などの手続きを行っていただきます。
- ・優勝校が辞退した場合、英国 Debate Academy の権利は準優勝校に、豪州シドニー工科大学の権利は 3 位になった 2 チームのうち 3 月 22 日の全国大会予選における総合点が高かった学校に移ります。以下同様に権利が移って行きます。

13 HPDU 杯実行委員および役員

理事長 北原隆志（渋谷教育学園渋谷高等学校教諭）

事務局長 古賀記洋子（日本大学第一高等学校教諭）

理事 小林良裕（豊島岡女子学園高等学校教諭）

前田和（埼玉県立久喜北陽高等学校教諭）

浜野清澄（さいたま市立浦和高等学校教諭）

西崎真広（元桐光学園中学校高等学校教諭）

天海揚介（OBOG 代表）

須田智之（筑波大学附属駒場中・高等学校教諭）

大関朝美（富士見中学高等学校教諭）

河野周（聖光学院中学・高等学校教諭）

監事 油井直次 油井アソシエイツ株式会社 代表取締役

名誉顧問 明石 康（公益財団法人 国立京都国際会館理事長、一般社団法人日本英語交流連盟副会長、元国連事務次長）

沼田貞昭（一般社団法人 日本英語交流連盟会長、元駐カナダ大使）

顧問 加藤一郎（千葉大学客員教授、元全農代表理事専務）

新庄一郎（弁護士、元検察庁検事正）

酒井弘行（公認会計士、元KPMG ジャパン日本代表、元あずさ監査法人理事長）

大会主顧問 岡田真樹子（一般社団法人 日本英語交流連盟常務理事、元山梨英和大学 人間文化学部人間文化学科 教授）

大会特別顧問 綾部 功（東海大学 文学部英語文化コミュニケーション学科 准教授）

中川智皓（大阪府立大学 工学研究科 機械工学分野 准教授）

HPDU 西日本代表 西山哲郎（香里ヌヴェール学院小学校 学校長）

チーフコーチ 小野暢思

- ・2014 年 ESUJ 大学対抗ディベート大会優勝、2016 年 ESUJ 社会人英語ディベート大会優勝、2017 年第 20 回記念 ESUJ 英語ディベート大会優勝など、国内外の各種パラメンタリーディベート大会で優勝 32 回、ベストスピーカー賞 28 回
- ・2015 年パラメンタリーディベート世界大会（World Universities Debating Championship）ESL 部門 Quarter Finalist、EFL 部門 4th Best Speaker
- ・各種セミナーの講師を務める

※なおHPDUの大会は全てボランティアにより運営されています。

14 最後に

今回は新型コロナウイルス対応のため、色々に変更した形で何とか大会を実施することとなりました。この実施要領も急遽作成したものですので、今後準備が進む中でさらに変更せざるをえない部分も出てくるかもしれません。皆様には色々にご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力の程よろしく願いいたします。